



東京矢高会 ニュース

12名が参加した東京

スカイツリー見学会

会員の皆様の親睦をはかるイベント第3弾。12名が参加し建設中の東京スカイツリー見学会が12月4日、晴天の中行われた。午後1時30分に押上駅前交番前に集合し、北十間川に架かる十間橋から

押上駅 業平橋駅を通り、言問通りを浅草方面に、牛嶋神社、隅田公園を通り吾妻橋、約2時間のウォーキングコース。十間橋と西十間橋からは真つ直ぐに空

に伸びると川面に映るスカイツリーの逆さ富士ならぬ「逆さスカイツリー」。

元々は川沿いのよくある散歩道が、当日は大勢の見学会客が通る大変な賑わい。浅草通りを浅草方面に歩き、スカイツ

リーの麓。真下から見ると姿は空に突き刺さるがごとし。その後スカイツリーを横に見て、駅名が「東京スカイツリー駅」に変わる藤原業平ゆかりの業平橋駅を過ぎ、スカイツリーを背にして言問橋を

浅草方面へ。牛が奉つてある牛嶋神社で小休憩後、旧水戸藩下屋敷 隅田公園を通り、吾妻橋へ。参加者は中村輝夫(4

期、本田博(10期)神田恵介支部長(13

期)高橋廣(旧姓高垣)13期岩

岡忠夫(16期)戸司恵美子(旧姓三宅)27期。ご主人と一人で参加頂いた前号で投稿も頂いた中野恭子(旧姓本田)28期、

奥様と娘さんとの3名で参加の三宅伸(29期)、三宅良(35

期)敬称略。歩き疲れた後は、吾妻橋たもとの居酒屋での懇

親会。中村先輩曰く「ここにいらみんなは遠い親戚だ」と

晴天にも恵まれ、おなじみのメンバーやフレッシュなメンバ

ー、参加者には浅草名物「いもきん」が。名残惜しい楽しいときになりました。

今年も元気で

楽しい矢高会を

矢上高校卒業生会東京支部長

神田恵介(13期 井原出身)

東京支部長の神田です。

昨年は猛暑と豪雪が日本を襲い、今度は大震災がやってきました。

死者行方不明は2万人を超え、今も40万人の方が避難生活をされています。私は当日帰宅困難者となり職場で1泊しました。皆様方としてご

家族は大丈夫でしたか。被災された方々には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。東京は計画停電や放射能で不安な毎日が続きます

いろいろなありますが、こんな時は慌てたり沈んではいけません。逆境にめげずどんなときでも元氣を出し頑張るのが矢高魂『質実剛健』

です。

昨年秋の会員レクでは今度の大地震でもびくともしなかつた東京スカイツリーを、ご家族の皆さんと一緒に見学に行きました。川面に映る逆

さツリーはきれいでした。最近はまだ



東北関東大震災 被災者の皆様には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます



2010.08.15

いぶ空に向かつて伸びたようです。今度は大地震に耐え何事にもびくともしない世界一のツリーを皆さんと一緒に見に行きましよう。

とにかく『元気で楽しく』をモットーに今年もみんなで矢高会を盛り上げてやっていきたいと思えます。

5月28日(土) 正午から総会です。場所は五反田「ゆうぼう」と。皆さんからのおもしろい企画を募集していきます。

高橋廣さんが優勝

第3回東京矢高会ゴルフコンペ(11月13日)川越グリーンクロスII5376ヤード パー71——晴天に恵まれ青空の下、参加者は過去最高の2組6名。高橋廣(旧姓高垣)さん(13期矢上出身)が八田一利さん(15期矢上出身)と同スコアながら初優勝。ベスコロは神田恵介支

部長(13期 井原出身)、4位

は中村輝夫さん(4期 高原

出身)。5位は初参加の服部豊

さん(15期出羽)。6位は三宅

良一さん(35期 矢上出身)。

クラブハウスから船で荒川を渡

り、9時8分いよいよスタート。

前回に続いて2回目の参加

現在は上尾市の酪農家の高橋

さん。前回の2位から躍進。

同スコアながら2位は2度目

の参加の八田さん。千葉工業

大学で若い学生に囲まれる毎

日です。

「ゴルフは生涯スポーツと

考え、打つて、歩いて筋力維持

「長生きするにはゴルフに限る」

と、著書「月イチゴルフの品格」

で言われているNGF(日本ゴルフ

財団)認定のゴルフインストラ

クターの神田さん。見事88でベ

スコロ。

毎回参加の、中村先輩。ホー

ムグラウンドでコースを知り尽くしていても、ゴルフは自然相手のスポーツ。年齢を感じさせないドライバーと、パター。スコアは98で第4位。

第5位は初参加の服部豊さん。大手製薬会社を退職後、サラリーマン時代の仕事ぶりを見込まれ、現在は群馬県安中市本多病院の事務長に。休日には家庭菜園とゴルフとか。ゴルフはベテランの域。今後は常連に

第6位は「月イチゴルフの品格」を愛読

し、ゴルフは自然と親し

むスポーツと解釈してい

る三宅さん。右に左に、

スコアは116。

ゴルフは山あり谷あり、

苦節の人生。ようやく

乗ったグリーン上、見事

カップインしたときの「カ

ランロン」の快音とホー

ルアウト後の、うまい「ピ

ール」、だからゴルフはや

められない。

終了後は全員で懇親会。

ドラゴン・ニアピン賞の

商標がそれぞれ受け渡

されました。

次回は3組以上のの

開催を願ひ、お開きと

なりました。

高校駅伝応援

と京都旅行

太田耕造(18期矢上出身)

平成二十二年師走の日曜日、高校生の陸上競技「男子第六十一回全国高校駅伝大会」応援の機会を得て、夫婦で初めて京都に一泊一日の行程で行って来た。東京都代表の「東京実業高等学校」の応



2010.08.15

援に参加し、十二時半西京極陸上競技場を出発、国際会議場前を折り返すフルマラソンと同じ四二・一九五キロのコースで行われた。都大路を擡でつなぐ、を合言葉に選手は一丸となつてレースに臨んだ。我々の応援はスタート地点からすくなく、二キロ地点付近であつた。レースの結果は、残念ながら四十五位に終わったが、来年への希望を持つことが出来た。当日は応援に疲れホテルにチェックインすると、夕食もそこそこに寝てしまった。

翌日は、京都の地が初めてということでも市内観光に出かけることにした。観光の最初は、宿泊場所の近くの金閣寺を見学することとしホテルを九時過ぎに出発した。金閣寺に向かう途中、日本三天天神の一つであり梅の名所として知られ、菅原道真公を祀る学問の神様で有名な北野天満宮を散策し、金閣寺に向かう。金閣寺は、その名の通り鮮やかな金色に彩られたすばらしいお寺であつた。寺の中に入ることは出来なかつたが、すばらしい眺めにしばし目をとめることになつた。続いて、嵯峨・嵐山を経由し二条城に向かった。二条城の建物は端から端までの長さが二二〇メートルもあるものであつた。最後に清水寺に向かい、京都観光の代表と称される清水の舞台上に上り京都市内を一望し、眺めの良さに感激した。

今回の京都旅行は、高校駅伝の応援の

ついでに、観光を兼ねての旅行であつたが古き良き時代に思いをよせ、その当時の文化に接することが出来大変有意義な旅となつた。

来年は、高校駅伝も有終の美を飾り再度観光にも行きたいと思っている。

ふるさと紀行

倉持桂子(旧姓竹内) 14期

私のふるさと、邑南町鱒淵に昨年八月主人と共に帰省した。母と義姉(竹内美恵)6期の一周年忌法要を兼ねてのお盆帰省であつた。

その折、阿須那のお寺に歴史のあるすばらしい建築物があると聞き、行ってみることにした。阿須那は母の実家でもあり、従兄弟に案内をたのんだ。阿須那の町から山の中へ車で十分位上がった所、細貝部落に江戸中期の建立で現在十七代目に当たる西蓮寺と云う浄土真宗の

お寺がある。その楼門(山門)が、村指定有形文化財としてすばらしい姿をみせてくれた。

山奥の民家も数件しかないこんな場所にと想像させる山門は、嘉永元年(一八四八年)上棟、棟梁は旭町「和田の匠」と呼ばれた名工、長山喜一郎で、その傑作として石見三門の一つにあげられている。棟高十一メートル、素木の総檜造りで、階下に六頭の竜、四対の獅子、鶴と雲が十二、花に極楽鳥、正面に雷竜、階上に





自分に合わないと言って辞めて帰って来るな。また人には優しく親切に。袖に泪の掛かる時、人の心の奥を知れる。」と言いつつ、その後私の手を取り指を何故か一本づつ抓つて「抓った指で痛くない指はあったか?」と聞きました。「兄弟は六人いるが分け隔てはしていない。皆私の子供だから一人として可愛くない子はいない。」と言いました。つまり指を子供に諭えて、どの指も等しく大切であると言ってくれたのです。

野菜作り

はなはな

日向 護(17期田所出身)

故郷を出てから45年余り年ごとに故郷が懐かしく、山河の風景を思い出される年齢となりました。今まではほとんど夏の帰省であったが、昨年の春のゴールデンウィークに帰省し

父の話を聞いている内に新幹線は多摩川を渡り、その先には東京の街並が夕日に映えて私を待っていました。高層建築物は東京タワーと霞ヶ関ビルだけでした。後で母から聞いた話を付け加えさせて頂きますと、父は実はとても心配していた、上京後何日間も夕方になると庭に出ては遠くを見ていたそうです。親の愛は計り知れず、本当に有難い限りです。そして、今日まで四十二年間父の教えを守り続けられましたのも、矢上高校の先輩や同郷の方々のご指導のおかげと心より感謝いたしております。合掌

久しぶりに代掻き、田植えを行い、農作業の大変さ、米のありがたさおもしろさを改めて感じた。職場の友人が野菜を作っており手伝いに来ないかと誘われ、耕転機が使えるならとスニーカーで面白半分に行つたところ長靴をすぐに買ってくれ、野菜作りの仕事をさせられた。これがおもしろい。いろいろな家庭菜園を手伝うようになった。畑を貸すから作ってみたらと言われ、昨年約50坪を借り野菜作りを行っている。

春にはジャガイモの植え付けに始まりナス、ピーマン、ゴーヤ、トマト、秋には大根、小松菜、油菜等々四季に合わせて作っている。畑までは片道20キロあり頻繁に行かれないので一日がかりの作業である。

夏は全身汗びつしより、汗がメガネに落ち前が見えなくなってしまうほどであった。暑さ、水分補給、虫退治(無農薬のため)、藪蚊、雑草との戦いである。サツマイモは猛暑と降水量の少ない影響で普段の半分以下となった。畑にいと近所の人(農家・家庭菜園作りの人)が立ち寄り作り方の指導や品評などをしてもらつたり、その縁で親しくなつたりと人とのつながりが出来る。

野菜作りの本を買いテレビ放送を見て勉強し、いろいろな野菜を育て失敗と成功を繰り返している。普段の生活とは違い夢中で自然と格闘すると身体的・精神的非常に良い。収穫の野菜は食べきれないので近所におすそ分けである。これが案外喜ばれている。今年はこの区画にどんな野菜を植えるか思案中の現在である。今後とも矢高会の発展を祈念します。

青春の詩

大羽 登(6期)

日和出身

昨年十二月上旬 久しぶりに母校(矢上)にご縁をいただき生徒諸君に話の時を得た。題目は「青春」。青春とは「人生のある時期ではなく、人の心の持ち方をいう、優れた想像力たくましい意志燃える情熱、安易を捨てた冒険心、こつこつ心の様相を言う。(サムエル

出光興産特約店・石油販売

辰田産業(有)

島根県邑智郡邑南町中野758番地

(事務所) ☎95-0317 (第1給油所) ☎95-0562
FAX 95-2089 (第2給油所) ☎95-0443

高速通い cafe

美 美 由
み み ゆ

矢上本町商店街

090-7638-4263



服部真二(17期)



ウルマン(1840~1924)彼は青春という名の幻の詩人として、多くの人々の魂をゆさぶり続けてきた。

米国のフランクリンルーズベルト(元大統領)日本では日本化薬創業者、原安三郎、パナソニック創業者の松下幸之助等々。私は16歳であろうと75歳であろうと、年齢に関係なく「人は信念と共に若く、疑惑と共に老いる。希望がある限り若く、失望と共に朽ちる」と語った。

確かに足腰は衰え、落ちてきた。日々

自覚している。しかしボキヤブラリーは少なくとも70歳際まで増え、それが落ちるのは死ぬ2~3年前。

足かけ証券マン50年、株式市場の眼力はさほど衰えていない。飛び交う大空の鳥に的を合わせる技は年と共に正鵠を得ているように思える。

十年一日の如く午前三時に起床、兜町出陣へのステップをふみ整える。

まずチカラくするのは内外の為替動向内外の情勢それらをインプットして本日の戦略を練る。

株式は行動心理学、情報の裏の裏まで読まねば生き続けられない世界。

日々、玉石混合の情報が洪水となつて兜町を激流する。

時には不確実性の情報にあつて戦国的武将のような判断が求められることも多々ある。

正に株式市場は無情の界。その中で先手必勝、いかにして金のなる木の情報を得るか。

子供の頃、おとぎ話で桃太郎の鬼退治を聞いた。桃太郎は何故、キジとサル、イヌを従えて鬼退治に行ったのか。

サルは企画・立案、イヌは有言実行(行動)キジは偵察、鬼の居場所をつぶさに桃太郎に

報告して三位一体で鬼退治。思えば日本企業・国家は行動・企画は優秀だが、残念ながらキジの情報力が余りにも乏しい。

昨今、ITは日進月歩、ネットメディアは猛威をふるつて我々の生活にインパクトを与えているが、それ等はいわゆる表に出ている情報で、もはや情報としての価値は一段と低下とする。

価値のある金になる木となる情報はそうそう安々と他人には教えない。私は今時の流れに逆らつて、アナログにこそ、明日のお宝が隠されているとの思いを強くしている。

情報とは情けに報いると書く。人は情けの下に住む、仏でも魚心あれば水心。直接、然るべき情報を持っている方に直接いかに顔を合わせ打ち出の小槌のお宝を手に入れるか戦略的に重要である。

それには日頃からの人間関係が大事であることは申すまでもない。

古里の自宅で

地産地消費カフェ

島根県邑南町の矢上町商店街に自宅を持つ東京在住の夫婦が、高速道路の「土日上限千円」割引で帰省費用が安くなつたことなどを機に、自宅を改装して夢だった地産地消費カフェ「美美由(みみゆう)」



を開店した。

腕を振るうのは、都教委の学校給食指導担当係長を務め、この春早期退職した栄養士の服部久美子さん(58)。在職中に中国製キヨーザ事件の対応に迫られたこともあり、自家製野菜を使うカフェの開店が夢だった。

矢上出身の、夫真一さん(63)の母の介護、矢上の自宅で知人が開いていた洋品店の閉店、「千円高速」などの条件が重なり、開店を実現させた。

店で使う野菜の一部は、真一さんが自宅裏で無農薬をつくる。

2地点居住のため、開店は11月22日まで、12月は7~17日ごろ。

真一さんの退職後は月20日程度開く。夫妻は「商店街の賑わいづくりの一助になれば、東京の知人を招いて町の魅力を伝える場にもしたい」と意気込んでいる。

(中国新聞 平成22年11月12日より)

平成二十三年 度

年会費の御礼とお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。

二十二年 度会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。大勢の方に協力頂きました。

昨年より一口 千円として何口でもお納め頂くことができるようになりました。各行事の時にも申し受けますが、払込用紙にて、お納め頂ければ幸いです。

また、ゆうちょ銀行からの振込の場合には手数料がかかりません。

改めて、本年度の会費をお納め下さいますようお願いいたします。

会費二口千円 何口でも

口座番号〇〇一四〇一〇一七二二七七

金融機関からの振込用 口座番号

ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキユウ)店

当座 〇〇七二二七七

口座名 矢上高校卒業生会 東京支部

平成二十三年 度会費納入ご芳名

五口五千元 沖慶雄(特別会員)

平成二十二年 度寄付者ご芳名

金三千元 椿孝博(20期)

平成二十二年 度会費納入ご芳名

十口一万元 神田恵介(13期)

五口五千元 大羽登(6期) 高橋廣

(13期) 八田一利(15期) 沖慶雄(特別会員)

四口四千元 山本立身(15期)

三口三千元 品川幹雄(25期) 野田明

弘(瑞穂14期) 太田耕造(18期) 酒井富雄

(22期) 渡辺勤(11期) 楠利文(5期) 服部

豊(15期) 服部俊之(15期) 上田敏道(19

期) 石川義之(5期) 三宅弘文(12期)

二口二千元 花本保博(10期) 三浦弘

美(11期) 日野山勉(10期) 隅川和子(6

期) 三宅雅寛(23期) 稲田 隼(8期) 本田

博(10期) 竹内一昭(瑞穂3期) 山本信子

(13期) 上田一夫(22期) 室永和子(瑞穂6

期) 平井美千枝(17期) 山崎照夫(14期)

中森勝三(13期) 山口正子(15期) 荒瀬恵

子(35期) 服部眞(17期)

一口千円 三宅伸(29期) 滝厚江(8

期) 小林千賀(13期) 日野勇夫(瑞穂7

期) 植原稔子(10期) 日高文三(瑞穂1期)

枝久保美千恵(10期) 椿美津枝(13期) 沖

征広(14期) 沖美知江(18期) 坂根節男(13

期) 八田志津江(21期) 小屋保子(6期) 寺

本廣宣(19期) 日野修治(17期) 山田裕三

(39期) 斉藤均(19) 岡本博仁(15期) 久長

瑞枝(5期) 森脇清(17期) 一谷邦男(9

期) 雨宮寿子(13期) 狩野恵(13期) 天川

千賀子(22期) 森岡武(14期) 辻井道子(11

期) 伊賀美穂(21期) 中村幹子(26期) 敬

称略。

石見の民謡② 「祝入り唄」

しぐいり

今回ご紹介するのは石見地方全域で

広く唄われていた「祝入り唄」。全国的に

は長持唄と呼ばれる、花嫁の調度品を

花婿の家運ぶ時に唄われる婚礼道中の

唄。のど自慢の若者が双方から選ばれて

唄われる祝い唄。実家を出るときや、そ

の道中、嫁ぎ先に近づくにつれ、または

嫁ぎ先の庭先で、それぞれの場にマッチ

した歌詞があります。曲調は全国的に

唄われる「宮城長持唄」よりも「秋田長

持唄」に近いが、それとも違う、石見地

方の長持唄「祝入り唄」です。

「祝入り唄」

(生家を出る時)

さらばナ 行きます ナー両親様よ

水のナ お世話にナりました

(嫁ぎ先に着いた時)

御門ナ入りてヨ ハーうちよ眺めむれば

さてもナ みごなと ナーお家様

(道中)

故郷ナ 恋しいと思つな娘

故郷ナ この世のハー仮の宿

家をナ 出る時や ハー涙で出たが

今度ナ 来る時や ハー客で来る

こゝはナ 大阪四七曲がり

足がナ だるからうー徒の衆

前回ご紹介しました島南町の合併五周年事業で初披露させて頂いた「木挽唄」。

ヤーレ木挽さん達や

米の飯ゆう喰うて

松のもと木にや泣いたげな

ヤーレ木挽さん達や

二間木の上で

トビやカラスの真似よなざる

ヤーレ三十四枚の

アラカの鋸で

挽けば山寺鐘の音

NHK FMラジオ「日本の民謡」に出演させて頂き「石見木挽唄」として唄わせて頂きました。

お時間がありましたらお聞き下さい。

今回は、「神石追分」「千屋の牛追い唄」と三曲。

機系があれば、今後も「石見の民謡」を

多くの方に聞いて頂き、広く愛唱して頂

けるよう、唄っていきたくと思つます。

放送予定日

4月10日(日) 午前11時

再放送

4月11日(月) 午前5時

毎週日曜日午前11時からの番組です。

大震災の影響で放送内容に変更がある

かもしれません。 三宅良(35期)

第36回総会

開催のご案内

最大のイベント、「支部総会」。本年度は5月28日(土曜日)に、会場は昨年同様品川区五反田の「ゆうぽうと」にて開催することになりました。

はるばる品南町から、卒業生会の渡辺生紀(4期)井原会長、今年いつばいで退任されました飯塚校長先生に変わり新しく矢上高校に赴任されました、二宅美明先生(24期)にご出席頂く予定です。

また今年、還暦、古稀、喜寿、傘寿を迎える方は、この年だけの出席も大歓迎ですので、ぜひ出席頂き、「元氣な顔を見せちゃんさい」。ささやかですが記念品をご用意しております。何かとお忙しいかと存じますが、万障お繰り合わせの上お出かけ下さいませよう。案内申し上げます。

日時 5月28日 正午

場所 五反田

「ゆうぽうと」

6階 「菖蒲」

品川区西五反田 8-4-13

電話 〇三―三四九四―六四七三

会費 男性八、〇〇〇円

女性六、〇〇〇円

(当日会場にて申し受けます)
準備の都合上、五月五日までに同封の返信用にて、出欠をご連絡下さいませよう宜しくお願いします。

矢上の方言

はあ、忘れんさつたらう。矢上弁、たまにやあ思い出しちゃんさいよ。

前号の問題「**な**」難しかったかのお。「早うなせ」「なしちゃんさい」「なさにやあ」時には喧嘩にもなる「なす」、正解は「返す」でした。思い出しんさつたかいな。都会での生活が長いけえ、忘れんさつたんだらう。

こりやあ、去年の盆に帰った時の、矢上の萩原の盆踊りで、景品を貰いんさつた「おつあん」が、来んさつとる中で一番歳ゆとうつとりんさるいうことで、二個目の景品を貰いんさる。いう時に、言いんさつた言葉が「さつきなあ なさにやあ いけんかいのお」。「なさんでもええけえ 貰おとさんやん」

正解者は、竹内一昭(瑞穂3期)八田一利(15期)八田志津江(21期)酒井富雄(22期)倉持桂子(14期)藤橋百合恵(21期)上田昭臣(17期)天川千賀子(22期)三宅伸一(29期)三宅雅寛(23期)小泉清隆(25期)小泉美都枝(27期)洲浜豊和(12期)品川幹雄(25期)三宅綾子(18期)宮田勝(14期)藤本秀子(21期)神田信子(23期)日高正行(10期)松村恵美(29期)上田敏道(19期)中野恭子(28期)戸司恵美子(27期)本田博(10期)高橋廣(13期)、25名 順不同。

抽選で5名の方に記念品をあげよう思っております。抽選は総会の時にやるけえ、正解しんさつた方はなるべく出席しちゃんさい。楽しみにしとちやんさい。

さあ、今回の矢上弁の問題は「みてる」。「見てる」とは違ふ。矢上弁の「みてる」。大切なものが「みてりやあ」大変なことにもなる。

「みてる」。思い出しちゃんさい。よお思い出しんさらんかったら、矢上の親戚やお友達に電話して聞きんさつたもええで。

この問題は本田博(10期)先輩に出題していただきました。

前号の訂正とお詫び

日向譲(17期)さんのお名前、正しくは日向讓さんでした。

編集後記

大変なことになりました。今回の東日本大震災に被災された方には心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興を祈念しております。

この冬は大雪で矢上も大変だったようですが、昨夏の猛暑の折にはいつまでもこの暑さが続くのやらと思っていました。何事も永遠ではないはず。

今号も原稿をお願いしましたところ、快く引き受けて頂き有難うございました。また倉持桂子(14期)先輩には原稿と一緒に写真をお送り頂きました。有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

改めてお一人お一人の人生が、そのまま映画やドラマの波瀾万丈のストーリーになる、皆様が人生の主演であることを頂きました原稿から感じています。

次回発行は9月の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは自由。連載も。また個別にお願いさせて頂きますが、その節にはご協力の程、どうぞ宜しくお願いします。十分注意しておりますが誤字脱字や、見ずらいところもあるうかと思えます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。

ようやく春です。花粉症が心配ですがどうぞご自愛下さい。

三宅 良(35期 矢上出身)